

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年8月23日

越谷レイクタウンにおいて、水辺の新たな利活用が始まります ～越谷市とイオンモール（株）が協定締結～

埼玉県では、現在、大相模調節池（元荒川・越谷市）において「Next川の再生・水辺 de ベンチャーチャレンジ」を進めています。「Next川の再生・水辺 de ベンチャーチャレンジ」は、「埼玉版SDGs」の重点テーマ「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」に位置付けられ、企画段階から民間事業者等と県、市が連携し良好な水辺空間づくりを進め、地域振興を図る取組です。

本事業に登録した越谷市は、令和4年6月、地域と連携して水辺活用に取り組む民間事業者を公募し、提案された内容を審査した結果、イオンモール株式会社を事業候補者として決定しました。

提案の中では、水上デッキや飲食店、アウトドアが楽しめるコミュニティスペースなどを整備することにより、地域の賑わい創出を目指しています。

これを受けて越谷市とイオンモール株式会社は「（仮称）大相模調節池河畔 水辺活用に関する基本協定」を締結するため、令和4年8月27日（土）に協定締結式を開催します。基本協定の締結は大野知事立会いの下、福田越谷市長、岩村イオンモール株代表取締役社長の2者間で行い、その後、3者で現地視察を行います。

○基本協定締結式について

日 時 令和4年8月27日（土）10時から11時10分まで

会 場 水辺のまちづくり館（越谷市レイクタウン4-1-4）

出席者 大野 元裕 埼玉県知事（立会者）

ふくだ あきら
福田 晃 越谷市長

いわむら やすつぐ
岩村 康次 イオンモール株式会社代表取締役社長

内 容 ・越谷市とイオンモール(株)による基本協定締結

・現地視察（雨天時は変更する場合あり）

○Next 川の再生・水辺 de ベンチャーチャレンジ

河川空間の利活用について、企画段階から民間事業者等との連携を強化し、より魅力ある水辺空間の創出を図る取組です。利活用内容については行政や地域住民、民間事業者等で構成する利用調整協議会で検討を行い、協議会で合意したプランに基づき整備を推進します。県は河川管理施設を、民間事業者等は営業施設を整備し、市町村は河川敷地の占用や地域の活動支援を、地域住民は美化清掃などの地域活動を行うものです。

現在、大相模調節池（元荒川・越谷市）を含む 11 箇所が実施候補箇所に登録されており、河川空間の利活用に向けて検討を進めております。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1008/venture.html>

○大相模調節池の概要

大相模調節池は、JR 武蔵野線越谷レイクタウン駅を囲むように位置し、ショッピングモール「イオンレイクタウン」に隣接しています。普段は、ボートやカヌーなどの水上スポーツをはじめ、地域の方々のレクリエーションや憩いの場として活用されています。洪水時には、東京ドームの容量に匹敵する 120 万立方メートルの水を元荒川から導水し貯留することができ、流域の浸水被害の軽減を図ります。

○その他

- ・ 協定締結式への問合せは、越谷市経済振興課へ（048-967-4680）
- ・ これまでの川の再生の取組は、河川環境課の Web ページでもご覧いただけます。

埼玉県河川環境課 Web ページ

川の国埼玉

検索



<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1008/kawanosaiseikaseniji.html>